



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

2019年3月10日（日）関西・東海予選／三重・亀山GC東C、西C
予選大会結果のお知らせ

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関西・東海予選>

◇3月10日◇三重・亀山GC東C、西C（15-18歳男子6717ヤード／いずれもパー72／カテゴリー別）
◇出場290人◇曇りのち雨

<関西・東海予選 概況>

15-18歳の部男子では、湯原光（愛知・西成東部中3年）が4アンダー68の好スコアをマークし、この予選大会4度目のメダリストとなって西日本決勝大会（3月30日～31日、滋賀・滋賀GC）に進んだ。全選手がスタートを終えるころから雨となる悪条件になった。同女子では田中珠蘭（じゅら、愛知・南山中2年）が粘りのゴルフをみせて、3オーバー75で回ってトップ通過した。13-14歳の部では、男子は中川瑛太（岐阜・大野中1年）がイーブンパー72で2年連続1位となって西日本決勝大会に進出。同女子は2016年世界ジュニア代表（9-10歳の部）の清本美波（愛知・南部中1年）が前半42をたたいたが、後半2アンダーと盛り返して4オーバー76で1位通過した。

<関西・東海予選 予選結果>

西日本決勝大会進出者は以下の通り。＊敬称略

▽15-18歳男子

- 【1位】湯原 光（愛知・西成東部中3年）＝68
- 【2位】大谷元気（福井・福井工大付福井高1年）＝73
- 【3位】新井隆一（福井・福井工大付福井高3年）＝75
- 【4位】竹内大悟（京都・京都産業大付中3年）＝77
- 【5位】神田悠貴（静岡・浜松日体中2年）＝78
- 【6位】石垣敢大（三重・白子中3年）＝80
- 【7位】菱田健斗（愛知・中京大付中京高2年）＝80
- 【8位】丘 尊伍（大阪・豊中第十七中3年）＝80
- 【9位】島末大洋（大阪・興国高2年）＝80
- 【10位】田中 翔（愛知・ルネサンス高2年）＝82
- 【11位】河野涼介（愛知・日進東中3年）＝82
- 【12位】角江勇稀（滋賀・立命館守山中2年）＝82
- 【13位】益田 航（愛知・熊野中2年）＝82

▽同女子

- 【1位】田中珠蘭（愛知・南山中2年）＝75
- 【2位】小木野陽鞠（大阪・豊中第十四中2年）＝77
- 【3位】稲垣那奈子（東京・共立第二高3年）＝77
- 【4位】青山 緑（愛知・白山中3年）＝78
- 【5位】大西里和（滋賀・比叡山高2年）＝78
- 【6位】木村葉月（愛知・有松中3年）＝78
- 【7位】藤原侑奈（和歌山・初芝橋本高1年）＝79
- 【8位】高木美佑（福井・福井工大付福井高3年）＝80
- 【9位】田中こころ（岐阜・精華中3年）＝81
- 【10位】西田奈々実（愛知・西部中2年）＝81
- 【11位】村上美空（愛媛・新居浜北中3年）＝83



写真

上：15-18歳男子 湯原光

下：15-18歳女子 田中珠蘭

©IJGA2019

▽13-14歳男子

- 【1位】中川瑛太（岐阜・大野中1年）=72
- 【2位】白野柚稀（大阪・北池田中1年）=76
- 【3位】小杉飛翔（兵庫・加古川小6年）=78
- 【4位】大谷 翼（京都・藤森中2年）=82
- 【5位】新井龍紀（愛知・西部中2年）=82
- 【6位】皿木大智（大阪・光陽中1年）=82
- 【7位】稲垣早弥人（愛知・星城中2年）=83
- 【8位】小松大洋（滋賀・老蘇小6年）=85
- 【9位】石垣珠侑（三重・白子中2年）=87
- 【10位】丹羽悠太（愛知・東部中2年）=88
- 【11位】阿部英彦（兵庫・甲南中1年）=88
- 【12位】川原朔太郎（三重・加茂中2年）=89
- 【13位】平根佳亮（奈良・奈良育英中1年）=89

▽同女子

- 【1位】清本美波（愛知・南部中1年）=76
- 【2位】與語優奈（愛知・長久手中2年）=77
- 【3位】木ノ下美宇（愛知・名古屋国際学園6年）=79
- 【4位】上久保実咲（京都・木幡中1年）=79
- 【5位】堀川雪花（静岡・豊田中2年）=80
- 【6位】勝見莉衣（石川・戸板小6年）=81
- 【7位】定本八彌（京都・御池中1年）=81
- 【8位】神谷桃歌（愛知・聖霊中1年）=81
- 【9位】中島 凜（愛知・星城中2年）=82
- 【10位】中島七海（岐阜・帝京可児中1年）=84
- 【11位】高木綾夏（石川・緑中2年）=85
- 【12位】木ノ本星空（大阪・南池田中2年）=85
- 【13位】山脇愛璃（兵庫・長坂中2年）=86

▽11-12歳男子

- 【1位】赤松成真（和歌山・市ノ瀬翔6年）=76
- 【2位】亀井幹大（大阪・吹田第三小6年）=81
- 【3位】上村大和（兵庫・宝塚小6年）=82
- 【4位】進藤太雅（兵庫・西須磨小6年）=83
- 【5位】武田紘汰（徳島・藍住東小5年）=84
- 【6位】加野大葵（岐阜・大野小6年）=84
- 【7位】大西翔駟（大阪・玉島小5年）=85
- 【8位】岡橋虎之介（奈良・田原本南朱緒6年）=86
- 【9位】石垣龍之介（三重・桜島小5年）=87
- 【10位】今村吏桜（奈良・王寺小6年）=89

▽同女子

- 【1位】酒井理琴（大阪・西淡路小6年）=72
- 【2位】清水遼奈（岐阜・厚見小6年）=74
- 【3位】松岡杏樹（岐阜・八幡小6年）=76
- 【4位】鳥居くら（兵庫・港島学園小学部6年）=77
- 【5位】北川紗玖楽（大阪・関西大初等部6年）=77
- 【6位】日比野邑香（岐阜・旭小6年）=77
- 【7位】渡邊紗弥華（滋賀・金田小6年）=78
- 【8位】松田 雫（愛知・蟹江小5年）=78
- 【9位】丸山夏蓮（愛知・西浦小4年）=78
- 【10位】中嶋月葉（兵庫・宝塚第一小5年）=78
- 【11位】西村 雛（岐阜・大垣東小4年）=79



写真：13-14歳女子 清本美波
©IJGA2019

▽9－10歳男子

- 【1位】岡田健太郎（三重・安東小3年）＝78
- 【2位】石口寛樹（奈良・大正小3年）＝79
- 【3位】森 春喜（愛知・港西小4年）＝81
- 【4位】中山智晴（愛知・連尺小4年）＝82
- 【5位】木村 壘（兵庫・聖ミカエル国際学校3年）＝82
- 【6位】龍山 稜（愛知・名進研小3年）＝85
- 【7位】徳島寛人（大阪・旭ヶ丘小4年）＝85
- 【8位】馬庭隼人（三重・暁小4年）＝85
- 【9位】鈴木蓮央（愛知・吉田方小4年）＝85

▽同女子

- 【1位】福田未来（兵庫・天満南小3年）＝76
- 【2位】後藤あい（兵庫・甲南小4年）＝80
- 【3位】荻原すみ（埼玉・明戸小3年）＝80
- 【4位】江坂実桜（三重・一身田小4年）＝81
- 【5位】エステンシちなさ（岐阜・岐阜大教育学部付小4年）＝81
- 【6位】岩永杏奈（兵庫・塚口小4年）＝81
- 【7位】中山凜花（愛知・小幡北小4年）＝83
- 【8位】坂口実環（岐阜・本田小4年）＝84
- 【9位】平山心暖（三重・稲生小4年）＝84

▽7－8歳男子

- 【1位】櫻井煌大（滋賀・平田小2年）＝78
- 【2位】森 巨希（千葉・みそら小2年）＝82

▽同女子

- 【1位】重原純奈（千葉・幸小2年）＝74
- 【2位】赤穂未来（兵庫・舞多聞小2年）＝74
- 【3位】飯田柚月（千葉・金杉台小2年）＝76
- 【4位】岩永梨花（兵庫・塚口小1年）＝77

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関西・東海予選>

◇15－18歳の部男子◇3月10日◇三重・亀山GC西C（6717ヤード、パー72）

湯原光（愛知・西成東部中3年）が4アンダー68と、出場選手中ただ一人アンダーパーで西日本決勝大会（3月30日～31日、滋賀・滋賀GC）に進んだ。「パットが入りまくった感じ。むちゃくちゃ楽しかった」と笑顔を見せた。インスタートで2バーディーの34。雨足が強くなってきたアウトに折り返して、1番パー5で第3打をグリーンオーバーするミスショットでボギーにしたが、4番で10メートル、最終9番で8メートルなどロングパットを放り込むなど4バーディー（2ボギー）。「実は受験勉強と受験で3週間ラウンドしていなかったんで、パターに触ったのが一昨日。去年の夏ぐらいからずっとパッティングが悪かったんですけど…」と、自分でも理由が分からないという。2011年に現在の日本代表選抜大会形式になって7－8歳の部で世界ジュニアに出場した「1期生」。以後、西暦奇数年に予選大会をトップ通過して、今回で4度目予選大会メダリストだが、世界ジュニア代表は惜しくも逃し続けてきた。「西日本決勝大会でとにかく優勝したい」と、意気込んでいた。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関西・東海予選>

◇15－18歳の部女子◇3月10日◇三重・亀山GC西C（6152ヤード、パー72）

田中珠蘭（愛知・南山中2年）が「雨の中で耐えるのが苦しかったけど、まあまあのゴルフができました」と、3オーバー75で1位となり西日本決勝大会（3月30日～31日、滋賀・滋賀GC）に進んだ。雨がまだ弱かった前半はツキにも恵まれた。「8番（パー3）でティーショットが左に曲がったんですけど、土手に当たって跳ね返ってグリーンに乗った。6メートルぐらいのバーディーパットが入って、よしと思った」と振り返った。苦しい時には、好きな「三代目 J SOUL BROTHERS」や「EXILE」の歌を心の中で歌いながら「頑張ろうという気持ちになる」のだという。去年も西日本決勝大会に行ったが世界切符は取れなかった。「今日も小さいミスが重なってダブルボギーにしたので、そういう小さいミスを重ねないこと。ショットが安定してきたのでこの調子でいけば」と、世界ジュニア代表に意欲を見せた。

<PGM世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会 関西・東海予選>

◇13—14歳の部女子◇3月10日◇三重・亀山GC西C（6152ヤード、パー72）

清本美波（愛知・南部中1年）が後半踏ん張って4オーバー76で回り、西日本決勝大会（3月30日～31日、滋賀・滋賀GC）に1位で進んだ。前半は5番パー5の第3打をグリーン奥にOBにするダブルボギーから「気持ちが立ち直れず、半分あきらめてしまった」と、7番からも3連続ボギーで42をたたいた。折り返すまでの時間で応援に来ていた家族に「後半はアンダーで回る」と約束。フックばかりだったが「かぶせないように右サイドを意識してスイングを変えた」と後半は4つのバーディーを奪い（2ボギー）、他の選手が崩れる中で大まくりのトップ通過。2016年に9—10歳の部で世界ジュニアを経験して、昨年も挑戦しようとしたが「練習しすぎなのかスイングが悪いのか分からない」と左ひじの痛みでこの大会に出られなかった。「また世界に行きたい。西日本決勝大会ではアンダーパーを絶対に出したい。今日の前半みたいな態度はとらないようにする」と反省を今後の糧にする。